

# ダイキン中低温ニュース

2022年05月27日発行

## Vol.102～平型プラグインケース 省エネ優位性のご紹介～

提案活動の中、電気代の価格高騰でお悩みになっているユーザー様より平型プラグインケースの省エネ優位性について問い合わせを頂き、実際に店舗で使用されているケースで比較検証を行える機会を得ました。その結果、**平型プラグインケースの省エネ優位性が明らかになりました**のでご紹介いたします。

### ①別置式リーチインケース（他社製）



機種構成  
別置式リーチインケース  
…7尺×4台  
室外機  
…8HP×1台

### ②平型プラグインケース（AHT製）



機種構成  
平型プラグインケース  
…8尺×6台  
6尺×2台

※機種構成については、実際に運用されている店舗での冷凍食品販売に使用されているものとなります。

対象機器	実測消費電力量(1週間) [kWh]	推定年間消費電力量 [kWh]	推定年間電気代 (円)	推定年間電気代 削減額(円)	省エネ率比較
① 別置式リーチインケース	1205.3	62,676	1,156,366	613,537円減	53%減
② 平型プラグインケース	565.8	29,422	542,829		

実測期間：2022年3月15日～3月22日、電力単価：18.45円/kWh(測定地位電力会社の業務用(一般料金))



## 別置式リーチインケースに比べて**53%省エネ!**

※ダイキン平型プラグインケースはAHT製のOEM品となるので、同等以上の能力を有します。



### ■平型プラグインケースの省エネ性が高い理由

・蒸発器ファンモーターやヒーターを使用していない為、消費電力量をおさえられます

	別置型リーチインケース	平型プラグインケース
冷却方式の違い	<b>強制対流式(庫内ファン有)</b> ・ケース背面に搭載した熱交換器に空気を通し、循環させることで冷却を行っている。 ・一方で、庫内ファンを24時間運転させる為消費電力量が大きい。	<b>自然対流式(庫内ファン無)</b> ・ケース壁面内部に冷却管を巡らせ、低温の冷媒を流し、壁面からの伝熱で冷却を行っている。 ・庫内ファンを使用しない為、消費電力量が抑えられる
除霜方式の違い	<b>電気ヒーター除霜方式</b> ・電気ヒーターで温めることで一度に大量の霜や氷を溶かすことができる。 ・電気ヒーター線に大量の電気を通電させる為除霜時にかかる消費電力量が大きい。 ・庫内温度上昇の影響も大きい。	<b>ホットガス除霜方式</b> ・冷却管内にホットガスを流し、直接冷却管を温めることで霜や氷を溶かすことができる。 ・ヒーター線を用いない為、除霜時にかかる消費電力量が少ない。 ・庫内温度の上昇が小さい。
結露防止ヒーターの違い	<b>電気ヒーターを利用</b> ・電源供給が必要な為、消費電力量が大きい	<b>凝縮配管の熱を利用。</b> ・排熱部分を再利用の為、消費電力量が抑えられる。

**ダイキン平型プラグインショーケースをご提案される際は、省エネ優位性を訴求下さい!**